

ふれあい広場 第5号

活動報告

ふれあいミュージック・ケアとお楽しみ音楽会
女子駅伝大会募金活動
ピープルファースト京都
SON 京都
命輝け第九コンサートの会

ふれあい広場

Vol. 5 2019.3 発行

京都北ライオンズクラブ
京都市中京区三条通り新町西入ル
釜座町 22 ストークビル 415
Tel. 075-221-3854

活動 報 告

京都北ライオンズクラブ結成55周年記念事業 『ふれあいミュージック・ケアとお楽しみ音楽会』

10月14日(日)、京都北ライオンズクラブ結成55周年記念事業『ふれあいミュージック・ケアとお楽しみ音楽会』をハートピア京都で開催致しました。

ふれあい広場の仲間たちにお声掛けさせていただき、N P O 法人日本ミュージック・ケア協会副理事長伊藤恵美先生のご指導の下、ミュージック・ケアを行いました。お楽しみ音楽会は、命輝け第九コンサートの会理事長久馬正義様ご指導の下、第九コンサートの会のみなさまに、『心と心で』、『一つの明かりで』、『第九』を合唱頂きました。途中、会場の全員で『ビリーブ』を合唱、大きな歌声が広がりました。最後のプログラム、『じゃんけん汽車ぽっぽ』は全員で音楽に合わせてグルグル廻り、音楽が止まった所で一番近い人とジャンケン、負けた人は後ろに回り、最後は大きな大きな輪となりました。ご参加頂いた80名の皆様に社会福祉法人白百合会特製クッキーを記念品としてお渡しありました。この『ふれあい広場』の仲間たちとの『ふれあい』が少しずつ形になり、共に楽しいひとときを過ごせたことは、京都北ライオンズクラブとして何にも代えがたい大変嬉しい時間となりました。



皇后盃第37回全国都道府県対抗女子駅伝大会募金活動

1月13日(日)、皇后盃第37回全国都道府県対抗女子駅伝大会が開催されました。

京都北ライオンズクラブでは、駅伝大会のスタートとゴールとなる西京極総合運動公園にて、メンバー17名が参加し障がい者福祉を目的とした募金活動を行いました。

我がクラブは毎年、大会参加者、関係者の皆様へ参加記念品を寄贈して参りました。今年は、社会福祉法人白百合会とN P O 法人せいらん福祉社会と共にトートバッグを制作致しましたが、1,000円以上募金いただいた方へ、参加記念品と同じトートバッグを記念に差し上げました。毎年募金をしてくださる方、お嬢





さんが出場されるため遠方から応援に駆けつけたご家族、大会の関係者の皆様、市民の皆様のあたたかいお言葉にふれ、多くの善意を賜りました。募金活動は、社会福祉法人白百合会よりトートバッグを制作された作業者さんや、ボースカウト24団カブ隊の皆さんにもご協力いただきました。当日集まりました146,846円の善意は全額京都新聞社会福祉事業団へ寄付する予定です。

京都北ライオンズクラブ
副幹事 古川 耕一



びーぶるふあーすときょうと ピープルファースト京都



2018年度、ピープルファースト京都のメンバー4名が、佛教大学との交流で授業を受けていて、授業最後の日に、障害者の差別をなくすための条例についての劇を学生の前で発表しました。熱心に見ててくれたように思います。学生さんの前では、緊張しました。その後、博愛病院でも同じ劇をやりました。入院している人は、年配の人が多かったので、地域移行するのは、たいへんかもしれません、それでも地域でくらせるようになったら良いと思いました。看護師さんからは、とてもわかりやすくてよかったです、と言つてもらいました。今日は、条例の劇のワンシーンをちょっと紹介します。

うえだ のりひさ
（上田 哲久）

だいわしょくば 第5話 職場にて

おかもと 岡本くん

部長さん、すみません。来月に、ピープルファーストの全国大会に行くので、20日の土曜日にお休みをもらいたいんですけど。

おかもと 岡本くん

ええ、またかあ？ 前も土曜日にピープルなんちゃらで休んだやろ。

おかもと 岡本くん

いや、あれは1年くらい前ですよ。
来月は、注文が多くて大変なんやで。

おかもと 岡本くん

でも、全国大会には行きたいんです。

おかもと 岡本くん

おまえ、ピープルなんちゃらと会社とどっちが大事なんや？
30年も面倒みてやってるんやぞ！ もうそんなんやったらピープルなんちゃらをやめてしまえ！

おかもと 岡本くん

そんな…



ナレーション：条例では労働者が、障害者であることを理由として、障害者でない人と比べて差別的なあつかいをしてはいけないとされています。少なくとも、個人の生活のことまで、会社は入り込まないようにしてほしいです。

スペシャルオリンピックス日本(SON)京都

あっという間にお正月もすぎてしまいました。今年はいのしし年です。新しい年の始めに心にきめた目標や約束、決心はどんなものだったのでしょうか。

スペシャルオリンピックスも、新しい年度をむかえました。

昨年は、9月22日から24日にナショナルゲーム・愛知が開催されました。SON・京都からは、35名の選手団を送り出しました。バレーボール、バスケットボール、競泳、卓球、ボウリングと5つの競技に出場し、日頃の練習の成果を競い合い奮闘しました。

その結果、日本選手団選考結果発表により、SON・京都より、夏季世界大会・アブダビに9名の選手、コーチが選ばれました。とっても嬉しい事です。バレーボール、バスケットボール、サッカー（サッカーは別の大会で選出）のメンバーです。本年2019年3月に向け、精神的、肉体的に強い技能をみがいています。

この様な行事を事故なく進めていく上には、よりたくさんのボランティアの力添えが必要になってきます。より質の高いプログラムを提供するためにコーチクリニックも大切な必須事項です。そして何よりも運営していく上に必要なのが資金です。

- ・トーチウォークを通してSONの活動や知名度を高めると同時にファンドレイジングを目的とします。
- ・『日本ライオンズクラブ』と『SON』の協働事業として取り組むなどのご協力をお願いできればと思います。

資金獲得大作戦 ・・・コカコーラウエスト 新規にコカコーラの自動販売機を設置いただくと、売り上げ金の一部がSONへ寄付されます。ご協力をお願いします。

理事 小西 布巳江



命輝け第九コンサートの会

第13回 命輝け京都第九コンサートを終えて

平成30年11月25日 午後2時～4時30分 於京都コンサートホール大ホール

第13回命輝け京都第九コンサートに向けてハンディのある人（約200人介助者も含む）もない人（約260人）も中には3才になるお子さんも6月から約半年の練習を続け一生懸命歌いました。途中台風や大雨のため警報が出て約1か月練習ができない時もありましたが460人の大合唱団の熱い気持ちが観客の心に響く素晴らしいコンサートとなりました。おかげさまでチケットも完売となり盛況のうちに終えることができました。2年おきに開催しているので13回で26年となり私たちの活動も四半世紀を越えることとなりましたがこれも京都北ライオングズクラブの皆様をはじめ多くのボランティアの皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。京都聖母学院の先生方や生徒さんのご協力のもと今回は初めてウェルカムコンサートを大ホールホワイエで開演前や休憩中に演奏して下さったり第一部では和楽器ユニットおとぎの演奏で日本の和の心を感じて頂けたりして大変好評を得ることもできました。またインスタ映えするベートーヴェンの幕も花を添えました。

第二部でいよいよ第九の演奏となり第五パート（ハンディのある方が歌いやすくするために音域を狭めた旋律）を歌う方々と一般四声の方々がポジューム席では混じって歌い、共生の社会を目指すことを主旨とする事を可視化して並びました。お互いの声を聴きながら刺激を受け演奏後に涙を流されている方もおられました。また、観客の中にも演奏中に感動して胸が熱くなり涙が止まらなかったというご感想も頂きました。楽屋口でお見送りした時に団員の方々が笑顔で帰られるのを見ると約2年かかって準備したことが報われた気がして、また2年後も頑張ろうという気になりました。

まだまだ未熟ですので今後も私たちの活動を温かく見守って頂けますと幸いです。

●次回、第14回命輝け京都第九コンサートは2020年12月20日決定

理事長 久馬 正義

